めぐり暦

あなたの星の2027年

八白土星

広げられるうちに広げておく年

2027年2月4日 〜 2028年2月3日

はじめに

この一本について

このPDFは、本命星だけで読んだ2027年です。

九星気学では、生まれた年から出る星を本命星といいます。同じ年に生まれた方は、全員この星が同じです。ですからここに書いてあることは、あなたと同じ星の方みんなに当てはまります。

生まれた月から出る月命星、生まれた日から出る日命星を重ねると、ここから先はお一人ずつ変わります。そちらは最後のページでご案内しています。

2027年

あなたのいる場所

八白土星・2027年

巽宮（南東）　成長の年

2027年のあなたは、縁が伸びる側にいます。

これまで蒔いてきたものが、人づてに戻ってくる時期です。自分で取りにいった話より、紹介や又聞きから来た話のほうが、この一年はよく通ります。

ですから、迷ったら広げるほうを選んでください。絞るのはもう少し先でいい。いま広げた幅が、そのまま次の数年の持ち場になります。

気をつけるのは、予定の埋め方です。この年は、空いているところに話が入ります。先まで埋めてしまうと、せっかく来た縁の置き場所がありません。月のうち何日かは、意識して空けておいてください。何も起きなければ、それはそれで構わないので。

今年、迷ったときの決め方

1. 迷ったら、広げるほうを選ぶ。絞るのはもう少し先です
2. 来た話を自分で抱えない。次の人へ渡していい年です
3. 予定を先まで埋めない。空いているところに縁が入ります

一年の流れ

十二か月

九星気学の一年は、立春（二月四日ごろ）から始まります。月の区切りも暦の一日ではなく、節入りという日です。ですから表の期間は、月の半ばから始まるように見えます。

印は三段階です。◎は動きやすい月、○は普通の月、△は待つ月。同じ印でも、年によって重さが変わります。

月	期間	印	その月の呼び名
二月	2月4日〜3月5日	△	切り替えの月
三月	3月6日〜4月4日	○	表に出る月
四月	4月5日〜5月5日	△	静かな月
五月	5月6日〜6月5日	○	整える月
六月	6月6日〜7月6日	◎	動き出す月
七月	7月7日〜8月7日	◎	つながる月
八月	8月8日〜9月7日	△	見直しの月
九月	9月8日〜10月7日	◎	決める月

月	期間	印	その月の呼び名
十月	10月8日〜11月7日	○	入ってくる月
十一月	11月8日〜12月6日	△	切り替えの月
十二月	12月7日〜1月5日	○	表に出る月
一月	1月6日〜2月3日	△	静かな月

縁の伸びる年なので、◎の月は人に会う予定を先に入れてください。この年の◎は、作業が進む月というより、話が動く月として出ます。△の月は、返事を書く月だと思ってください。来たまま返していない連絡を片づけておくと、次の月にまた入ってきます。

2027年

動いてよい方角

引っ越しや、何泊かする旅行のように、自分の意志で拠点から離れる場面だけで考えてください。毎日の通勤や買いものまで気にする必要はありません。



2027年　本命星だけで見た方角（上が北。地図と同じ向きです）

動くなら、**東か南西か西**。**北・北東・南東・南・北西**は外してください。

「外す」と書いた方角の理由

- 五黄殺 九年に一度まわってくる、いちばん荒れるとされる方角
- 暗剣殺 その真向かい。外からの横やりを受けやすいとされる方角
- 破 その年の干支と正面からぶつかる方角
- 本命殺 あなたの本命星が今年いる方角。自分の星のいる方へは動かない決まり
- 本命的殺 その真向かい

この図は、本命星だけで見た方角です。

月命星を重ねると、ここに「いちばん良い方角」が決まります。同じ「良い」でも、月命星と合う方角と、合わない方角があるためです。そこまで出したものは、鑑定書のほうに入っています。

ここから先

ここから先は、お一人ずつ

ここまでは、あなたと同じ本命星の方みんなに共通する話でした。

鑑定書では、本命星に月命星と日命星を重ねます。外に出る顔、内側の動き方、素の顔。三つの組み合わせは八十一通りあって、ここから中身がお一人ずつ変わります。

入っているのは、三つの星の読み方、九年の周期といまいる場所、お作りした月から三十六か月ぶんの月別運気、今年の方角、叶えたいことをいつ動かすかの道筋、気になる人の星、そしてお作りした日から大みそかまでの日めくりです。A4で八十四ページ前後、PDFでお届けしています。

鑑定書（PDF・1,680円）

生年月日と、叶えたいことをご記入のうえお申し込みください。三営業日以内に、メールでPDFをお送りします。

https://megurikoyomi.base.shop/items/161887001

月に一度か二度、便りをお送りしています

節入りに合わせて、その月の過ごし方をLINEでお送りしています。月に一度か二度です。それ以上は送りません。

日ごとの流れは、サイトの「今日の運勢」で毎日ご覧いただけます。

※ このPDFは娯楽の範囲でお使いください。健康・医療・法律・お金の判断に用いるものではありません。
※ 年は立春、月は節入りで区切っています。節入りの日付は国立天文台の暦に拠ります。
※ 当たることをお約束するものではありません。九星気学は統計でも科学でもなく、暦の上の約束ごとから読み取る、昔からの考え方です。